

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	空間データ利用技術普及小委員会		主 査 名：依田浩敏 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：村上公哉
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	GIS (地理情報システム)、リモートセンシング技術等の空間データ利用技術の都市(環境)計画、防災計画等への活用活性化を行うために、技術の習得に必要な基礎的知識の検討および標準カリキュラムの検討を行う。 初年度：・小委員会の活動方針の検討・委員の研究内容の紹介・外部学協会における動向調査 2 年度：・GIS、リモートセンシング等空間データ利用技術の習得に必要な標準カリキュラムの検討		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：依田浩敏(近畿大学)、幹事：吉田聡(横浜国立大学)、委員：飯野秋成(新潟工科大学)、岩井一博(信州大学)、川崎昭如(東京大学)、川村広則(東北文化学園大学)、客野尚志(関西大学)、小松義典(名古屋工業大学)、斉藤郁雄(熊本高等専門学校)、須藤諭(東北文化学園大学)、田中貴宏(広島大学)、松岡昌志(産業技術総合研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 日本建築学会における空間データ利用の取り組み調査を実施中 2. 小委員会構成メンバーを中心とした当該分野における空間データ利用技術の教育方法に関する勉強会の開催は次年度に検討する。 3. 空間データ利用技術の習得に必要な標準カリキュラムの検討は継続審議。
委員会活動の問題点 ・課題	地方の委員が多いため、電子会議を実施せねばならない。